

ユナ

狙いがある。ほかに酒類を販売する店舗は「エイチ ビューティ&ユース」(東京・港)。同社は8月、一般酒類小売業免許を取得し販売を開始した。各地の酒蔵やブルワリーとコラボした商品を定期的に発



原宿本店では国内外からクラフトビールや日本酒をセレクトした(東京都渋谷区)

フリルた クリエーター

肩には大きなりボンとフ袖のボリュームが半端ないもフリルが。古き良きトレグッと盛られたエレガントまれ変わった。袖や裾は取手をほどくとすっきりとしブコートに変わる。その他トを肩で結ぶとドレスとり、肉厚なレザージャケット「HAENGNAE(ハ装感で膨ませながら使いもしっかり留意する。デザナ・チョイさん(28)は神日韓人三世。アートやフ学ぼうと20歳でニューヨークその後服づくりの基本を身に都内の服飾専門学校に進コンテストで英国留学の資卒業制作が米国企業の日米準備のため帰国した直後「今できること」と7月にち上げた。「自分に自信がりたい」。にこやかに、き

レストラン・装飾品で需要開拓

品代は「直接支援」として紹介し、寄付金を募る。

石川県輪島市で生産される漆器「輪島塗」の新たな顧客や需要を開拓する動きが出ている。7月に老舗工房のレストランが開店、アークセサリーは外国人や若い女性にも人気だ。2020年度の生産額がピーク時の2割以下となり、職人の数も減少している。地元自治体もふるさと納税を活用し若手職人を育てるなど官民挙げて活性化に取り組んでいる。

創業から200年以上の歴史がある工房、田谷漆器店(輪島市)は7月に和食店「CRAFEAT(クラフイート)」を金沢市に開店した。

工房の強みをいかし、輪島塗なら100種類以上、さらに九谷焼、珠洲焼、金箔塗りなどの県内の伝統的工芸品がそろった。美術館で見るだけでなく「食事を通じて、使い心地の良さを感じ

輪島塗生産額、ピーク時の2割以下



日本を代表する優美な漆器だが、生産額は30年で9割減

輪島塗は堅牢(けんろう)さと優美さが特徴。黒、赤、金色が基調の輪島塗では珍しく、ブルーやピンクなどの色漆を使いアークセサリーを作っているのが特色だ。カラルな輪島塗の指輪やピアス、結婚式のティアラも作る。主に食卓向けの少なさだ。市場の縮小で2020年度の工房数は前年度比1割減の431カ所、塗りや蒔絵(まきえ)職人など従事者数は16%減の1100人となった。どちらも統計を職人も場数を踏んで、腕を

「技術をいかし、新しいことに挑戦していく」(中門睦子さん)。女性ファンが増えているほか、イギリなど海外でも販売中。輪島市内を歩くと、昔のオーターモードや輪島塗の菓器など、独創的な新商品を多くみかける。

工房が新規事業に注力している背景には、危機感が器、スマートフォン

田谷漆器店の田谷社長は「伝統的工芸品だからこそ、顧客に喜ばれる商品を作る」と納税を活用し若手職り、進化させていかねばならない」と話す。

大型小売り・ファッショ

でもらえたら」(10代目の田谷昂大社長)との思いで開店した。

魚や野菜など食材やお酒も石川県産。料理長が季節にあわせて、最適な器で提

供する。「家庭や飲食店で、気軽に輪島塗を使ってほしい」(田谷社長)と、同漆器店は月額1万1千円で漆器が毎月届く、定額レンタルサービスも始めた。

来、最少だ。輪島塗は輪島市を代表するブランド。市は今夏、ふるさと納税を活用し若手職り、進化させていかねばならない」と話す。

エース、強度高めたリュック2種

かばんメーカー・渋谷は強ヒジネスリュックスペクトラム限定で発売し、3通りの持ち方の2種類をそろ

